

地域情報発信の素材としての「産業観光」

須田 寛

1、「産業観光」とは

歴史的文化的価値のある産業文化財（機械器具・工場遺構等）、産業現場（工場・工房）、産業製品を観光資源とする観光をいう。

「産業」をテーマとしたテーマ別観光資源がその対象となる。

2、「産業観光」の展開（琵琶湖疏水を例として）

- ・ 景観観光（桜並木、ウォーターフロント）
- ・ 歴史観光（建造物、沿線史跡）
- ・ 学習観光（疏水資料館、放水路、発電所、閘門、インクライン）
- ・ 体験観光（舟行、水泳）
- ・ STORY観光（疏水開発の経緯を辿る、疏水めぐり）
- ・ 町づくり（疏水による京都の町づくり、産業観光）
- ・ ネットワーク観光（全国疏水サミット、運河サミットなど）

} 在来型観光

3、今後の「産業観光」の方向

広域展開

国際展開

琵琶湖疏水概念図

